

令和4年度

第1回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和4年8月9日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏 名 ※敬称略
柏市立逆井小学校	校 長	ながしま まりこ 長島 麻利子
柏市立柏第二中学校	校 長	いまい あつし 今井 敦
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	会 長	あらい まさひこ 荒井 真彦
柏市障害者等社会参加コーディネーター		いしがき ひろこ 石垣 裕子
さわやかちば県民プラザ	所 長	かざと ただし 風戸 正
柏市社会福祉協議会	地域福祉課長	たかはし ふみなり 高橋 史成
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代 表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市ふるさと協議会連合会	監 事	とみた や み え こ 富田谷 三恵子
柏市PTA連絡協議会	会 長	ときた かずゆき 鴫田 和之
みんなの子育て広場支援コーディネーター		しもじ きょうこ 下地 今日子
開智国際大学教育学部	教 授	てらもと たえこ 寺本 妙子
市民公募		ふるはし ようこ 古橋 洋子

任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで

※風戸委員，鴫田委員の任期については令和4年6月1日から令和5年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	みやじま こうじ 宮島 浩二
生涯学習課 (事務局)	課 長	おきもと まさき 沖本 雅樹
	統括リーダー	やなぎぬま はじめ 柳 沼 肇
	統括リーダー	やまもと さとこ 山本 郷子
	担当リーダー	ひろせ くみこ 廣瀬 久美子
	主 任	かたおか るみ 片岡 瑠美
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌拔 博孝
		いわぶち ひろみ 岩渕 弘美
中央公民館	館 長	あいかわ あきよ 相川 章代
市民生活部 市民活動支援課	課 長	よしだ たかし 吉田 敬
こども部こども政策課	課 長	ましお さやか 真塩 さやか

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 生涯学習部長あいさつ
- 4 議長あいさつ
- 5 新任委員あいさつ
- 6 説明事項
前年会議の振り返り
- 7 報告事項
令和4年度生涯学習部各課・館主要事務事業概要
- 8 協議事項（グループワーク）
「若者を取り巻く課題と支援」
- 9 事務連絡
- 10 閉会

目 次

1	前年会議の振り返り	1
2	報告事項 令和4年度生涯学習部各課・館主要事務事業概要	3
3	協議事項	4

1 前年会議の振り返り

第1回 令和3年8月20日から9月17日まで（書面開催）

「今期社会教育委員会議のテーマ」

- (1) 提言の実践
- (2) 生涯学習推進計画の推進，進捗管理
- (3) その他

取り組むこととして
意見共有をしました。

主な意見

- 地域と学校の連携により，全ての子どもが必要な学力と体験が得られるような取組ができること
- 補充学習（現在の放課後子ども教室）にもニーズがあるが，選択肢が増えるのは良いこと
- 大人との関わりや，交流による居場所は大事
- コミュニティ・スクールとのつながりで展開するには放課後子ども教室は適している

第2回 令和3年11月2日

(1) 放課後子ども教室の取組について

「放課後の子ども（小学生）の居場所づくり」（抜粋）に基づき，今後の事業イメージについて説明した。

(2) 事例発表

「花サポ会の沿革（地域住民の学校支援体制作り）」に基づき，柏市立花野井小学校の取組事例についての発表を聞き，知見を広めた。

(3) 協議事項

「地域連携ルーム等の設置と活用にはどんな可能性があるか。地域の大人が学校とつながり，大人の活動をつなげていくにはどのようにしたらよいか」をテーマに，グループワークを実施した。

地域連携ルームに係る今後の可能性や，ハード面を含めた課題が見えた。

学校との連携にあたっては学校ニーズの把握が大事などの意見を共有した。

第3回 令和4年2月26日

(1) 講義

「総合的な学習の時間における学校・地域・大学の連携」についての講義を聞き、知見を広めた。

発表者：開智国際大学教育学部 富田俊幸准教授

(2) 協議事項

「柏市における地域と学校の連携について「総合的な学習の時間」を切り口に考える。」をテーマに、協議を実施。

..... 主な意見

- 学校のニーズと地域の方たちがどんな形で力を貸してもらえるかすり合わせが大切。
- 解決しなければならない課題（セキュリティなどのハード面）が学校ごとに異なるため、特定の学校で少しずつ実施し、検証することが大事。
- 体験を通し、地域課題の認識や把握をすることで、解決につながっていく活動が展開できれば良い。
- 地域と学校のやりとりの中で、学校の内容を把握しているコミュニケーションがある方に窓口になっていただけるのがよい。
- 学校と地域が連携してつながりあうということが重要。（防災訓練等）

② 報告事項

令和4年度生涯学習部

各課・館主要事務事業概要について

(1) 報告

別添資料参照

3 協議事項

1 グループワークの実施

今回の議題

若者を取り巻く課題と支援

2 テーマについての補足（別添資料参照）

これまでの当会議では学齢期を中心に議論してきたところであるが、その先に続く生涯教育として若者を取り巻く課題と、どのような支援を必要としているのかを考えていきたい。

これは、現在の青少年センターを解体し、新たに複合施設として整備することとなる(仮称)子ども・若者総合支援センター（以下「子若センター」という。）において、子どもから若者まで切れ目のない支援の提供の実現に向けて位置付けていることから今回のテーマと設定したもの。

3 協議の意図

主に16歳から30歳代までの若者に対して、ご自身の活動や、地域の特性、又は専門分野をベースに、できるだけ具体的な課題や支援（ハード・ソフト両面）について協議してください。

- (1) 若者に対する課題認識を拾う協議
- (2) 若者に今後必要と想定される物（活動、人材、施設等）を広く拾う協議

4 グループワークの方法

- ・ 2班（A班，B班）に分かれていただきます。
- ・ 議題について話し合うとともに内容を付箋に記入して下さい。
- ・ 35分間協議した後，15分でグループ内のまとめをお願いします。
- ・ 話し合った内容を各班5分程度で発表をお願いいたします。
(班ごとに発表者を決めて下さい。)